

発行所

静岡県高等学校障害児学校教職員組合  
〒420-0004 静岡市葵区末広町1-4  
高教組新聞編集委員会  
http://www.s-koukyousho.jp/  
e-Mail info@s-koukyousho.jp  
TEL (054) 254-6900  
FAX (054) 254-0814  
Facebook:「静岡高教組」で検索

第499号  
2024年  
7月12日

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、  
全教職員に配布しています

# あなたも 高教組へ

2面・若者憲法集会  
・戦争を語り継ぐ高校生



## 労働基本権制約の代償、 公務労働者の利益擁護機関として、 その役割と責務を果たすこと 人事院・人事委員会に要請書提出



7月4日、静岡県公務員共済組合連合会（静岡自治労連、県国公、静岡高教組、全教静岡など）で構成 議長は高教組）の代表5人が、静岡県人事委員会に要請書を提出しました。

民間労働者へと波及させ、地域経済の立て直し、活性化にもつなげていくべきです。

24年春闘の大企業労組の賃上げ率は5%を超え、33年ぶりの水準との報道の一方で、物価高騰が続く、実質賃金は過去最長の26か月連続減少し、国民生活は一向に改善していません。政府は「物価高を上回る所得の増加に向け、政策を総動員」と公言、しかし公務員の賃上げは政策として掲げません。公務員の賃金・労働条件決定は全国900万人以上の労働者に影響し、静岡県内の経済にも大きく反映します。

今夏の人事委員会勧告で、公務員が先導して大幅な賃上げを打ち出し、

生活と労働の実態にふさわしい水準の賃上げを求め、給与制度のアップデートによる格差拡大は問題、魅力的・将来性のある賃金体系が必要。地域手当の高位平準化、通勤手当改善。会計年度任用職員の均等待遇と雇用の安定。定年延長給与制度7割水準の見直し、長時間過密労働の改善、健康安全確保、ハラスメント根絶などを求めました。

「公共」の回復のために 各地の豪雨災害や能登半島地震をはじめ頻発する自然災害などへの対応をはじめ国民の生命や財産を守るために昼夜を分かたず奮闘している労苦に報い、国民・住民の命と暮らし、権利を守るやうに誇りの持てる公務員が公務員を信じて、民間企業に魅力を感じるようになってしまっている若者を「公共」に取り戻すためにも、人事委員会が労働基本権制約の代償、公務労働者の利益擁護機関として、その役割と責務を果たすことを求めました。

静岡高教組からは、産育休・特休の代替未配置、教職志願者減、20代の早期退職者急増、精神疾患による特別休暇急増、さらには「休まれると困る」と

### 主張

昨年、仕事上の強いストレスが原因でうつ病などの精神疾患で休職する公立学校の教員が6500人を上回り過去最多と報道されました。精神疾患で有給の特別休暇(特休)を使っても1か月以上休んでいる教員も全体で5653人、休職中の教員と合わせると1万2192人に上っています。公務災害と認定される件数も増加し過去最多となり、文部科学省も「職場環境は非常に深刻で教員不足の中で若

### 特別休暇と 職場復帰支援の充実が必要

療養期間が90日を超えると、特休中に「職場復帰訓練」と称する復帰支援が行われます。徐々に慣らし、主治医を含めた「職場復帰相談」で「復帰の可否」

軽減も可能とするよう組合から求め続けています。育児や介護のための短時間勤務や部分休業があるように、「治療と仕事の両立のための短時間勤務」の制度化が求められます。

風邪などひいて具合が悪い時は、「特別休暇」を申請しましょう。年次有給休暇を使う必要はありません。年休は、心身の休養とリフレッシュを目的として、労働基準法により保障されている権利です。理由を問わず休むことができ、完全消化が奨励されています。自分の楽しみのために使います。

言われるハラスメントでさらに悪化する現場の実態を紹介。根本的には定数増による多忙解消が必要ですが、完全治療を前提とする特別休暇制度を改善し、「治療と仕事の両立」ができるよう業務軽減や短時間勤務制度導入を提案しました。

人事委員会給与課長は、「春闘での賃上げの水準に期待している。『民営化』方針で人員不足となったが、『アップデート』についてはまだ詳細が不明。『メリハリ』だけでは人を確保できない。小中学校で4月に52人と報道のあった教師の未配置も心配している」と回答しました。

7月9日(火)には人事院中部事務局に要請し、8月の人事院勧告を受け、9月には再び要請行動を行います。

2019年の給特法改正による上限指針は、超勤4項目以外に超過勤務を命じてはならない給特法の趣旨に反している。「勤務実態調査」の結果「時間外在職等時間」が約3割減

「教師の勤務等の特殊性を踏まえると、...」

「教員の職務の専門性、特殊性に対応する職務給であり、時間外勤務手当ではない」と明記すべき。

同じ教員免許で働く国立学校や私立学校では時間外勤務手当は支給されている。

### 視座

食いしん坊  
で、趣味は食べ歩きなもので、よく学校を飲食店にたどって考えるんです。もし店でまずい料理を出したら、もう客は来てくれないでしょう。変わりはええの、まずい料理を出し続けているも、客足は遠のくでしょう。美味しいのは当然、そして目新しさ。教室でまずい授業をしても翌日には生徒たちが帰ってきません。まずい授業を続けて、社会に出たらどうとまづいものがあるんだから、これくらいは我慢しろ。そんな指導をしたことも。店なら潰れてしまいません。反省しきり▼学期末、成績処理の真つ最中。三観点の評価に四苦八苦ししているところなんです。そこで、また店にたどってみます。

「知識技能」は、食材を知り、調理器具を使いこなすこと、この二つでしょうか。

「思考判断表現」は、食材をどう活かすか、どう調理するか、つまりレシピづくり。「主体的に学習に取り組み態度」では実際に調理して提供するまで。

そして最終的な評価は、もちろん、その料理の美味しさ、満足度！これぞなんとか一学期もラストスパート▼居眠りしてしまう生徒は、食欲がないのでしょうか。お店で、料理が出てきても、食べないのと同じなのではないでしょうか。この頃、一年は、ドッグイヤー。

犬が一年で人間の七分の歳をとることが語源。三年間で二十年も進化するのなら、日々のアップデートは必須。さ、そのヒントを探しに、どの店に食べに行こうかな。ボーナスも入ったことだし。

「教員の職務の専門性、特殊性に対応する職務給であり、時間外勤務手当ではない」と明記すべき。

同じ教員免許で働く国立学校や私立学校では時間外勤務手当は支給されている。

「教員の職務の専門性、特殊性に対応する職務給であり、時間外勤務手当ではない」と明記すべき。

同じ教員免許で働く国立学校や私立学校では時間外勤務手当は支給されている。

同じ教員免許で働く国立学校や私立学校では時間外勤務手当は支給されている。





# 「日本を戦争国家にするな」 若者憲法集会 デモに1200人



6月30日、若者憲法集  
会が東京都内で開催され  
ました。「しんぶん赤旗」  
の協力を得て紹介しま  
す。

プレ企画では四谷姉妹  
(二人の弁護士)を講師  
に招き、憲法の素晴らし  
さ、安保3文書とは何か、  
ジェンダー平等と平和に  
ついて、漫才をとおして  
分かりやすく楽しく学び  
ました。(左上写真)

メイン企画では、「九条  
の会」事務局長の小森陽  
一さんが講演、

「日本では徴兵される  
年齢が決まっています。戦  
争に動員された。『若者』  
という言葉には、かつて  
戦争を体験してきたみな  
さんの祖父世代の願  
いの中で生まれたのだ  
と歴史的に感じてほし  
い」と強調しました。

**高校生企画**  
日比谷図書文化館で  
は、「若者憲法集会高校生  
企画」として、憲法の平  
和主義と岸田政権が進め  
る「戦争国家づくり」につ  
いて「緒に考え、憲法につ  
いて学び語り合える学習交

流会が行われました。  
代々木総合法律事務所  
の大井淳平弁護士による  
「憲法9条は現実のルー  
ルであると同時に日本の  
目指すべき目的地。岸田  
政権が依拠する『抑止力』  
論、軍事対軍事の考え方  
では戦争を止める力はな  
い」と語る講演を聞き、  
「平和を守るために高校  
生にできること」を議論  
しました。

千葉県の高校生は、「日  
本の侵略などの歴史を学  
び、なぜ戦争が起きたの  
か、戦争を起さないと  
めんどろにするかを考え  
ることが大事。戦争国家  
づくりを止める青年の草  
根ネットワーク運動を広  
げたい」と語りました。

長野県の高校生は、「自  
衛隊明記を掲げる自民党  
改憲草案を知らない人が  
多い。改憲議論や選挙な  
どについて友達と話すこ  
とから始めよう」と提案。  
鳥取県の3年生は、「広  
島の悲惨さを考えたり、被  
爆の悲惨さを周りに伝え  
たりすることが大切」と  
訴えました。

「ガザやウクライナに関  
して世界各地の抗議行動  
と国連総会での議決が相  
まつ、国際世論を少しず  
つ動かしてきた。米国内  
でも、イスラエルの軍事行  
動に対して反対する意見  
が支持を上回った。旧植  
民地国が新たな力を発揮  
しており、その象徴が核  
兵器禁止条約。法的・倫  
理的な影響力が広がり、  
核兵器関連企業への投資  
を制限する金融機関も広  
がっている」、「核兵器必  
要論に対して、核使用は正  
当化できないと考える若  
者が増えており、連帯でき  
る余地は広がっている」と  
語りました。

「日中関係についても、  
台湾有事にあおられず、  
米国の言いなりにならず、  
現実的に外交関係を結ん  
でいくことが大事」、「外  
交とはいきなり仲良くしよ  
うということではない。お  
互いの違いを理解するため  
に話し合いを続けること  
自体が大事だ」と訴えま  
した。

鳥取の学生は「世界平  
和に向けて足がかりとな  
る宣言、決議、条約は確か  
にあると知り、前向きな  
気持ちになった」  
千葉の学生は「国際社  
会は無力じゃないと言葉  
に励まされた」と語りま  
した。

集会後、銀座で行われ  
た若者憲法デモには全国  
から1200人が参加し、  
「軍事費ではなく教育  
福祉」などのプラカードを  
掲げながら、リズムのせて  
「日本を戦争国家にする  
な」憲法変えるな、憲法  
生かせ」と声をあげまし  
た。沿道から手を振る人  
やスマホを向ける人など、  
大きな注目を集めました。

**青年のスピーチ**  
愛知県の大学生は、「誰  
かの犠牲の上に成り立つ  
平和を私たちは望んでい  
ない。私たちには平和の  
うちに生きる権利があ  
る」と訴えました。

大阪府の青年は、「子ど  
もやお年寄りが犠牲にな  
らない戦争はない。多く  
の人が夢や希望を突然に  
奪われる。憲法9条を持  
つ日本が平和の先頭に立つ  
べきだ」と語りました。

栃木県の青年は、「混迷  
する世界情勢を利用して  
政府が軍事力を増強しよ  
うとしていることに黙って  
いられたくない。決して  
悲観してはいけないと思っ  
た」と話しました。

北海道の大学生は、「政  
府は国民を見ていない。全  
国の青年の話を聞いて、自  
分の地元でも頑張りたい  
と思う」と話しました。

**学生企画**  
有楽町朝日  
ホールで行わ  
れた学生企画  
では、「世界平  
和を憲法の力  
で実現する」  
と題して、日本  
共産党の川田  
忠明平和運動  
局長が講演。

「地元の戦争を知って考える  
高校生たちのとりくみ」  
2003年から活動  
を始めた「エバークリー  
ン藤枝」は、高校生と  
共に「主権者は主催者  
から」「めんどろくささ  
を引き受け楽しむ」  
「作って食べて、つなが  
つて」を合言葉に、毎年、  
学習会と8月の藤枝市  
平和展での「青春の鼓  
動」を主催し、演劇、  
歌と演奏、書道などを  
通じて、平和への思いを  
発信しています。

前回紹介した島田樟  
誠高校演劇部に続き、  
他の高校生の感想で様  
子を紹介します。

若い女性を連れて行った  
こと。中国人の家庭に  
引き取られ、お手伝い  
として乱暴に扱われたこ  
となど、過酷な体験が  
伝わるように、高校生  
の会話にしてみました。  
今の日本は当時より  
平和だとは思いますが、  
本当は「侵略」なのに「開  
拓」だどたまされたり、  
大勢に逆らうと差別・  
排除されたりなどは今  
でもありそうなことだ  
と感じました。平和な  
世界をつくるために、過  
去を学び、伝えていこう  
と思いました。

《藤枝北高校演劇部》  
この平和展で、音楽  
や歌が生み出す人と人  
とを繋ぐ共感こそが、  
分断された社会を和解  
へと導く鍵になると確信  
しました。手拍子をし  
て、国や年齢を越えて、  
平和にしたいという思い  
が通じ合ったような気が  
します。あらためて音  
楽の凄さを感じることが  
できました。自分の思

いをもっと強く、繊細に  
伝えられる表現力を身  
につけたいです。  
昼食をみんなで作っ  
て食べ、オクサーナさ  
んの歌で癒され、ウク  
ライナの人たちの心の  
叫びが心に響き、一緒  
に歌って共感が生ま  
れ、自分も平和をつく  
る一員だと強く思うよ  
うになりました。

《榛原高校書道部》  
「平和」を、澄み切っ  
た青空をイメージして書  
きました。知っていた  
も伝えようとしないう  
意味がない。思いを二人  
で持っていたも実現は難  
しいし、やみくもに話し  
ても伝わらない。それぞ  
れの平和への思いを、いろ  
いろな形で伝えようとす  
る、このような場が必要  
です。

みんなで作ったカレー  
をいっしょに食べた時も  
「平和だなあ」と感じま  
した。何気ないところで  
も「平和」な思いを共  
有することの大切さを  
あらためて思いました。

高校生たちは、学ん  
だことを他の人に伝え  
ようとすることで、「自  
分事」にしているよう  
です。

「日本を戦争国家にするな」  
若者憲法集会 デモに1200人

「ガザやウクライナに関  
して世界各地の抗議行動  
と国連総会での議決が相  
まつ、国際世論を少しず  
つ動かしてきた。米国内  
でも、イスラエルの軍事行  
動に対して反対する意見  
が支持を上回った。旧植  
民地国が新たな力を発揮  
しており、その象徴が核  
兵器禁止条約。法的・倫  
理的な影響力が広がり、  
核兵器関連企業への投資  
を制限する金融機関も広  
がっている」、「核兵器必  
要論に対して、核使用は正  
当化できないと考える若  
者が増えており、連帯でき  
る余地は広がっている」と  
語りました。

「ガザやウクライナに関  
して世界各地の抗議行動  
と国連総会での議決が相  
まつ、国際世論を少しず  
つ動かしてきた。米国内  
でも、イスラエルの軍事行  
動に対して反対する意見  
が支持を上回った。旧植  
民地国が新たな力を発揮  
しており、その象徴が核  
兵器禁止条約。法的・倫  
理的な影響力が広がり、  
核兵器関連企業への投資  
を制限する金融機関も広  
がっている」、「核兵器必  
要論に対して、核使用は正  
当化できないと考える若  
者が増えており、連帯でき  
る余地は広がっている」と  
語りました。

「ガザやウクライナに関  
して世界各地の抗議行動  
と国連総会での議決が相  
まつ、国際世論を少しず  
つ動かしてきた。米国内  
でも、イスラエルの軍事行  
動に対して反対する意見  
が支持を上回った。旧植  
民地国が新たな力を発揮  
しており、その象徴が核  
兵器禁止条約。法的・倫  
理的な影響力が広がり、  
核兵器関連企業への投資  
を制限する金融機関も広  
がっている」、「核兵器必  
要論に対して、核使用は正  
当化できないと考える若  
者が増えており、連帯でき  
る余地は広がっている」と  
語りました。

「ガザやウクライナに関  
して世界各地の抗議行動  
と国連総会での議決が相  
まつ、国際世論を少しず  
つ動かしてきた。米国内  
でも、イスラエルの軍事行  
動に対して反対する意見  
が支持を上回った。旧植  
民地国が新たな力を発揮  
しており、その象徴が核  
兵器禁止条約。法的・倫  
理的な影響力が広がり、  
核兵器関連企業への投資  
を制限する金融機関も広  
がっている」、「核兵器必  
要論に対して、核使用は正  
当化できないと考える若  
者が増えており、連帯でき  
る余地は広がっている」と  
語りました。

「ガザやウクライナに関  
して世界各地の抗議行動  
と国連総会での議決が相  
まつ、国際世論を少しず  
つ動かしてきた。米国内  
でも、イスラエルの軍事行  
動に対して反対する意見  
が支持を上回った。旧植  
民地国が新たな力を発揮  
しており、その象徴が核  
兵器禁止条約。法的・倫  
理的な影響力が広がり、  
核兵器関連企業への投資  
を制限する金融機関も広  
がっている」、「核兵器必  
要論に対して、核使用は正  
当化できないと考える若  
者が増えており、連帯でき  
る余地は広がっている」と  
語りました。

「ガザやウクライナに関  
して世界各地の抗議行動  
と国連総会での議決が相  
まつ、国際世論を少しず  
つ動かしてきた。米国内  
でも、イスラエルの軍事行  
動に対して反対する意見  
が支持を上回った。旧植  
民地国が新たな力を発揮  
しており、その象徴が核  
兵器禁止条約。法的・倫  
理的な影響力が広がり、  
核兵器関連企業への投資  
を制限する金融機関も広  
がっている」、「核兵器必  
要論に対して、核使用は正  
当化できないと考える若  
者が増えており、連帯でき  
る余地は広がっている」と  
語りました。

「ガザやウクライナに関  
して世界各地の抗議行動  
と国連総会での議決が相  
まつ、国際世論を少しず  
つ動かしてきた。米国内  
でも、イスラエルの軍事行  
動に対して反対する意見  
が支持を上回った。旧植  
民地国が新たな力を発揮  
しており、その象徴が核  
兵器禁止条約。法的・倫  
理的な影響力が広がり、  
核兵器関連企業への投資  
を制限する金融機関も広  
がっている」、「核兵器必  
要論に対して、核使用は正  
当化できないと考える若  
者が増えており、連帯でき  
る余地は広がっている」と  
語りました。